

洋書輸入協会会報

VOL. 4

NO. 11

(通巻43号) 昭和45年11月

理事会報告

10月13日(火)

(一) 郵便料金に関する問題のため、日本出版貿易より望月会長出席。(記事後記)

(二) 9月分収支計算・予算対比表検討。問題なし。

(三) 東独小額本についての検討。

(四) 英国における New Decimal Currency に基づく新旧換算表の問題検討。

(五) フランク・フルト視察団より、とりあえずの帰朝報告。(極東書店一條氏より)

47名の参加者一同無事帰国。

日本よりのオーストリア使節団到着ということで書籍展理事のタウベルト氏が、極めて多忙の所を時間無制限で歓迎してくれた由。

その後東京税関東京・外郵出張所との懇談会に移る。(記事別記)

10月26日(月)

(一) 郵便料金問題に関する日賀井出氏よりの経過報告。(記事後記)

(二) 書籍・雑誌に関する日本の輸入通関額についての検討。

昭和44年は 船便分 C I F 約 153億円(但し\$200以下を除く)

郵便物分 // 約 88億円

計 // 約 241億円

内百科事典数が意外に大きい額を占めるのではなかろうか等のことにつき意見交換。当協会の取扱額等に関するデー

タが極めて乏しいことについての対策も必要となろう。

(三) U. S. Asiatic 山川氏より、卸の取扱いにつき、例を挙げて意見の開陳があり、それについての検討。

(四) アイ・アール・エム株式会社との懇談。

出席者

同社 代表取締役 河 本 氏

取 締 役 田 中 氏

営 業 部 長 志 賀 氏

- (1) 先ず河本氏より帰国の日時が延引し、話し合いが遅れて申し訳ないということと、Moody's 社の性格の説明とがあり、更に今後とも Communication の役割を果たしていきたい旨の挨拶があった。
- (2) 次いで丸善関口氏より、条件その他について 当初に較べ事情が好転して来ているのは事実であるが、尚一層の調整をお願いしたい旨の申し入れをする。
- (3) 以後今後の取引に関し程々の突込んだ意見の交換があり、又河本氏より必要であれば各社のセールス担当の許へ、セリングポイントの説明に出向いても良いとの表明もあり、お互いに大いに協力して販売に努力しようという点において意見一致、散会となる。

「郵便料金値上げ」問題について

本年度 133 億円、来年度 570 億円という郵便財政の赤字予想、並に昨年10月の万国郵便連合大会議で決定された国際料金基準表の10%値上げという二要素により、日本の郵政当局は郵便料金の値上げを計画している。

現在までの情報によると、郵政審議会は、国内郵便に於て才三種と小包料金に値上げのしわ寄せをする傾向にあり、また、国際郵便に於ては、現在でも国際料金基準表より60%高いにも拘らず、今回の基準表10%値上げに便乗するとのことである。

日本書籍出版協会では、これに対処し、小学館の相賀社長を委員長として対策委員会を設け、去る10月22日も本省の国際業務課二木課長補佐を呼んで事情を聴取する等、対策をたてているが、当協会に対しても同一歩調をとるよう要請があり、理事会として趣旨を了承し協力する方針をとった。(日賀・井出記)

洋書交換委員会報告

協会主催恒例の秋の「洋書まつり」（合同セール）も才
3回をむかえ、「青空市」とともによく秋の風物とし
て定着してきた感じがいたしました。

10月16・17・18日の3日間、例年どおり駿河台の古書会館を会場として出品者22社でまさににぎにぎしく開催されました。3日間の売上は、大学問題で大荒れに荒れた昨年をのぞいて着実に増え、今年は最高を記録することができました。この調子では、3日間の売上500万いや1,000万も夢ではないと交換委員会の各社は大はりきり。

今年は開会直前に委員長国際書房の服部専務の病氣入院という予期せぬ障害につきあたりましたが、そこは団結の
かたい交換委員会面々、カタログ担当の北沢副委員長（北沢書店）会場担当の高木副委員長代行（関東書籍）の努力により無事開催にこぎつけることができほったした次才。
あらためて御両者の御努力に感謝の意を表する次才です。

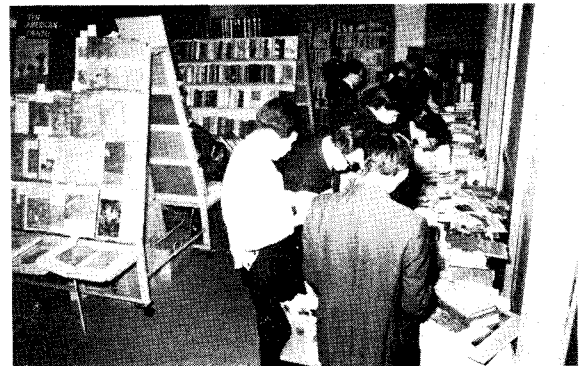
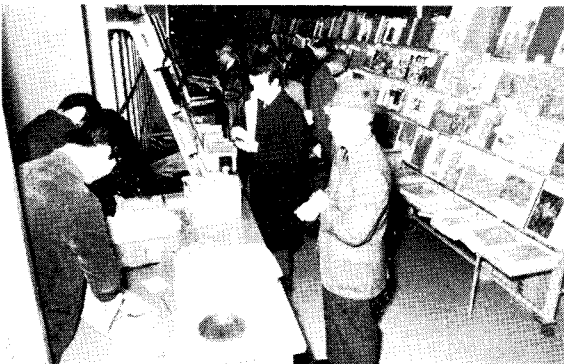
入場者からのアンケートによっても、「洋書まつり」に期待する声は大きく、春秋2回の開催をのぞむ声も少なからずあり、主催者としてはうれしい悲鳴をあげざるをえな

いありさまです。

第2回の入場者のアンケートの要望にこたえて、今回は、会場を大きく「人文・社会科学」と「理工・医学・自然科学」関係の出品者と二つに分け少しでも「分類別展示」に近ずけてはみたものの、「分類別展示」をのぞむアンケートでの回答は多く、展示方法についての今後の努力がのぞまれます。今回は「Japan Times」に連続4回の広告をこゝろみましたが、この反響は予想をうわまわったようで、広告の切ぬきをもった外人客が毎日会場につめかけ、今さらながら在日外人むけの日ごろの宣伝不足を思い知らされた。

服部委員長の発案で、はじめてこゝろみた、「カタログ原稿用カード」の統一方式は、きわめて評判がよく、あのうさ型の北沢社長からもおほめの言葉をいただいた。

11月4日箱根福住旅館でひらかれた委員会の反省会でも意見百出、来年の「洋書まつり」の成功は間違いなし、来年の交換委員の引きうけ手にはことをかかない感を強くした。
(極東書店・福島記)



通 関 委 員 会 報 告

去る10月13日午後3時30分より約2時間にわたり、東京税関東京外郵出張所との懇談会が日本橋ピーコックにて開かれました。

出席者

東京税関東京外郵出張所長	関 邦 雄 氏
同 管 理 課 長	小 林 謙 三 氏
同 統括審査官	名 取 肇 氏
同 統括審査官	結 城 章 敏 氏
同 統括審査官	植 田 栄 一 氏
協会理事及び通関委員	計 14名

席上外国郵便物通関についての現況及び今後の見通しなどにつき所長より伺い、今後輸入量の増大が見込まれる書籍及び定期刊行物の通関に当っては業者として税関の御指導と御信頼に応え通関手続きを確実にすべきことの認識を新たにいたしました。

また輸入貿易統計につき業界にとって貴重な参考となるお話もあり、併せて輸入貿易統計には大部分の外国郵便による書籍及び定期刊行物の通関額は含まれておらず従って総輸入額の把握は困難な現状なので、業界として外国郵便物通関手続に当って、統計面での把握を可能にするような方策を考慮する時期に来ているのではないかと示唆がありました。

次に当日承りました数字を記載します。

大蔵省貿易統計による書籍及び定期刊行物の輸入額

(1件\$200.— 至72,000.— 以下は含まず)

昭和42年	788,100万円
〃 43年	1,185,800 〃
〃 44年	1,527,200 〃
〃 45年 1—6月	1,090,800 〃

上記統計に含まれない東京外郵出張所での書籍及び定期刊行物の輸入通関額

昭和42年	697,500万円
〃 43年	863,000 〃
〃 44年	881,300 〃
〃 45年 1—6月	436,200 〃

上記東京外郵出張所通関額は同出張所にて膨大な手数をかけて集計の上特に提供されたものです。

常々、東京外郵通関協会を通じ、税関の御指導を仰いでおりますが、今回特に洋書輸入協会とのコミュニケーションの場を持たせていただき感謝いたしますとともに、業者各位におかれても、郵便物通関の特殊性を再認識されまして通関手続きを確実に行うようお願いいたします。

(通関委・丸善柴田記)

短 歌 同 好 会 だ よ り

本年七月に最初の歌会が開かれた。協会の文化活動としては、やゝ特殊な性質のサークルではあり、発足の当初から反響のはどが懸念されたが、宣伝不足も手伝ってか参加者が十名に足りず、永年宮中歌会始の選者を勤め数万の投稿者の選歌をして居られる鹿兒島寿蔵先生をお招きするに於ては、やゝ淋しい感じがした。この時には、このほど急逝された洋販の渡辺氏の奥様も元氣なお姿で出席されていた。歌を作るのは生れて初めてで、おっかなびっくり出席

した人も多かったが、先生が冗談混りに「全くの素人、つまりズブ・シロの方が下手に悪い癖に染ってしまった人よりも上達が早い。」と言われるのを聞き一安心した。小人数ではあったが終始和やかに歓談を交しつつ歌会が進められた。

この歌会をこれからもっと盛んにして行く為には、より多くの方々の参加が望まれる。

★毎月廿二月曜。於日貿会館会議室

石 内 茂 吉
(東光堂書店)

いま、経営にとって、最も重大関心事の一つは、労使問題——特に、賃金問題であると思います。昇給とボーナス、その時期になると、労使組合のあるなしに拘らず、頭を悩ますのは、どの経営にとっても、共通の課題となっています。

今年の春の昇給率は、各業界、共通に15%以上と言われているのですが、昨年も大体、同じ比率であったし、来年も、その位は、見込まれています。若し、この比率で人件費の昇給が、つゞくとすれば

5年で2倍

8年で3倍

10年で4倍

になる訳です。

いま、平均給与74,627円といわれていますが、昭和46年から50年の間に、平均15.7%の上昇率で伸びると、昭和50年の平均給与は154,702円、高卒初任給が実に5万円のラインに達することになります。

こうなると、もはや、人件費の昇給は売上の増額を、はるかに上廻って、利益どころか経営そのものが脅かされることになります。

東京商工会議所は昭和46年3月学卒求人見込みの平均初任給を次の通り発表しました。(但し、卸・小売業のみ抜き)

大卒 男子	42,100	高卒 男子	33,800
女子	38,500	女子	32,400
短卒 男子	36,900	中卒 男子	29,000
女子	35,100	女子	28,100

こういう状況のなかでいま、わが洋書輸入業界では、数年来、次のようなことがおこり注目されます。

- (1) 従業員の退社、独立自営の増加
- (2) 労使組合の結成
- (3) 他の業者の、雑誌、新聞取扱による当業界への進出
- (4) 雑誌一括購入による値引要求

- (5) 会社組織の分割、独算経営等

これらのこと

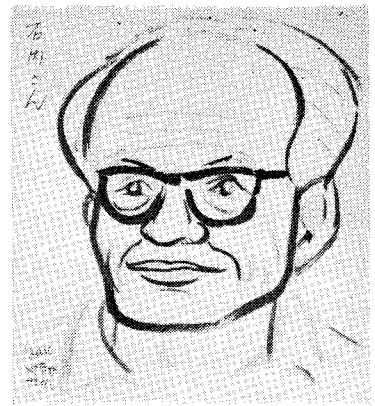
は、業者間の競争を激化させ、利潤の低下をさせる要因となり、その上昨年あたりから今後にかけて売上高の上昇率は、横ばいか、せいぜい15%位と予想されています。このきびしい傾向に対して、一般的には次のことが云われています。

- (1) 労働時間の短縮、厚生施設の設置、増設——労働力の定着のために
- (2) 冗費の節約、事務能率の向上、合理化
- (3) 少数精鋭主義、省力化
- (4) 販売独占権の獲得
- (5) 賃金体系の研究
- (6) 従業員との経営協力体制の確立
- (7) 業者間の協業化

以上の課題については、わたくし達が、今後経営者として真剣に取り組む、研究、討議しなければならないし、この機会を早く出来るだけ多く持つことが肝要であると思います。しかし、いづれにしろ究極的には、政治的な問題に当面するわけですが——それは先ず、物価問題(公共料金や生活必需品の値上りをはじめとするインフレの防止)次に税金、住宅、社会保障、厚生施設等数え切れないほど、問題が山積しています。

しかし、こういう大きな問題についてはさておき、わたくし達、業界に直接関連あるものとして、郵税の値上げ防止、印刷物郵便料金の特例設置、資本自由化による輸入ライセンスの廃止、通関事務の簡素化等々、すぐ取上げそしてその実現のために、運動化する必要があると思います。

そして、近い将来に共同保険施設(健康保険組合の設立等)や、洋書輸入会館の建設など当業界の社会的地位の向上を期したいものです。



本の部分読み

前 園 主 計

先日、トフラーの『フューチャ・ショック』を入手するのに苦勞した。わが国では『未来の衝撃』という書名で訳書が売られているのであるが、その原書を見たいという研究者がいたためである。四軒の“洋書屋さん”に電話してみたが、在庫はない。国立国会図書館はじめいくつかの専門図書館にもあたってみたが、どれも受け入れていない。結局、アメリカ文化センターが一冊持っていることをつきとめ、これが借出者から返ってくるのを待つことにした。

ところで、この本を欲しがった研究者は、この本の中のある2～3ページを読みたいだけである。訳書を読んでいるうちに、どうしてもある部分を原文にあたってみたくなったのである。もちろん、翻訳がおかしいというのではない。原文を知る必要があったにすぎない。

専門図書館にいと、このように本のある一部分を読みたいという人に、ほとんど毎日ぶつかる。いや、専門図書館の利用者はほとんど、このような本の使い方をしていると言ってよいだろう。本が洋書であろうと和書であろうと変りはない。また、本が立派な体裁の図書であろうと、

雑誌であろうと変りはない。問題はこのような部分読みをする人がふえ、かつこのような人は一冊本を読み通す人にも増して、熱心に本の入手を希望していることである。

周知のように専門図書館というのは通常、特定主題分野の本その他の資料を集めて、これを利用に供しているところである。したがってここを利用する人はその分野の専門家と言えそうである。ところが昨今では、あながち専門家とばかりは言えなくなってきている。確かに、この種の図書館はこれまで閉鎖的で、学者や研究員が使うものだった。しかし今では多くのビジネスマンが、どこでも出入りし、いわゆる“しろと”が利用するものとなっている。経団連、生産性本部、ジェトロ、アジ研、機械振興協会といった公的団体はもとより、会社における調査部や技術研究所の資料室も、専門家とともに“しろと”が活用している。

“くろと”も“しろと”も、このような専門図書館、あるいは自分の勤務先の本の類を部分読みするのは、かなり一般化しているようである。工作上必要な知識を本から

出版社在日代表の紹介

Scott, Foresman and Company

アジア代表 山崎 真須美

事務所 都下府中市浅間町4—3K—10

TEL (0423) 63—6025

Scott, Foresman 社といえば、日本では未だあまり良く知られていないかも知れません。というのも、この出版社は、所謂一般の図書出版社と異り、完全な学校教科書出版社であるからです。シカゴ郊外のグレンヴェーにあるこの会社は、現在すでに創業80年の歴史を有し、この間に着実な繁栄の道を歩んできました。幼稚園からカレッジに至る各分野の教科書教材を出版し、従業員数1,400名を有し、教科書出版社としては、米国最大といわれています。また歴史があるというだけでなく、常に新しいシステムを取入れ、停滞する事なく脱皮し続ける事によって、日進月歩の教育界でまさに挑戦的、パイオニア的地歩を築いております。特に得意の英語の分野に於いて優れた企画が多く、例えば、Thorndike-Barnhart の Dictionary Program は早くから我国でもよく知られている所ですし、最近では、英語の最も初期の習得を、きわめて言語学的に合理的なメソッドで追求した膨大な Program “English around the World” があり、これは今後の日本の初等英語教育に必ず影響を及ぼす事でしよう。

Scott, Foresman は子会社として South-Western Publishing Company (商業実務書専門) Lothrop, Lee & Shepard Co. Inc. 及 William Morrow & Co. を有していますが、日本では、Scott, Foresman と South-Western のプロモーションを主として行っています。現在在日代表をしております私、山崎は、昭和42年末に、この職に就任致しましたが、洋書界には、今年で19年目になります。一応色々な経験をつんだつもりですし、業界に知己の方々も多いのですが、更に一層努力して、皆様へのサービス、学校へのプロモーション等を行届いたものにしたいと念願しております。今後共、皆様のご利用をお待ちしております。

都合しているわけで、情報の洪水の中から生まれてきた「生活の知恵」であろう。電話帳や時刻表や統計表をみるように、必要に応じて「職能給の他社の事例」や「西ドイツのパートナーシップ」を、本の中から読みとっているのである。別に賃金や労使関係の専門家でもない人が、仕事上その概要をつかもうとしているわけである。それだけに真剣である。

辞書、名簿、統計といった部分読みするように作られている本はともかく、ごく普通の図書の部分読みはいろいろ批判されている。「専門家でもないのに、一部分読んでわかるものか」「専門家でも部分読みはさげよ」「なるべく自分の頭に知識を貯えるのが理想なんだ」というのがそれである。これらはいずれもある意味では的を射た言葉である。しかし、ことビジネスに関する限り、現場の事情をご存知ない方の言葉としか思えない。ビジネスマンは全知全能ではないし、世の中には常に新しい知識が送り出されている。

さて、本を部分読みするのにも、その部分を見つけ出すという前提がある。いや、その前にその部分が、換言すればその必要としている知識が記録されているものをみつけなければならない。この鍵の一つは図書の場合、書名とい

うことになろうし、雑誌の場合、雑誌名か記事名ということになろう。ところが図書の書名が、内容的に正確に表現していないきらいがある。書名の例をあげるのはさしひかえるが、特にわが国では、この傾向が強まってきているように思える。情報の氾濫する時代に、嘆かわしいことである。これは雑誌の記事名についても言える。

書名で類推して、本を選んだら、今度は求める知識がその本の中に書いてあるかどうかをチェックすることになる。ところが、目次だけではどうもみつけにくい。目次は一応整理され、体系化されているものと思われるが、その分野のその知識について知らないからその本にあたっているわけで、目次から所定の場所に直行できる筈がない。索引が欲しいところである。

日本の本は索引のついているものが少い。ついても項目が少ない。これに比べて洋書は比較的索引が完備している。このため特に日本の本でなければ載っていないような事項以外は、洋書にあたった方がてっとり早い。ビジネスマンの中には、このことを知っていて、かつ2～3ページ位の英文なら苦にしない人が多くなった。

(筆者は日本生産性本部主任研究員兼図書室主任。近著に「読書法」日本経済新聞社刊がある。)

出版社在日代表の紹介

Springer Verlag

代表者 矢 沢 静 子

東京都港区芝公園日活アパート 720 号

Tel. 432 - 4567

ドイツ学術書の出版社として、シュプリンガー社の名は余りにも有名である。1842年創立以来同社がヨーロッパ市場に培って来た地歩は確固としたもので、Berlin, Heidelberg と姉妹社 Wien を結ぶ線に、1964年 New York 支社が加わり、既刊 5,000 点年間新刊 450 点を数える。そしてこの新刊中に English Publication が漸増していることは同社の世界市場への意欲の現われでもある。

その日本代表として矢沢さんが Liaison Office を開いたのが1968年、以来輸入業者との緊密な連絡の下、プロモーション活動に多忙な日々を送っている。最近もドイツ出張から帰ったばかり、そして従来ともすればヨーロッパ市場を見るのと同様の眼で日本の市場をみていた感のある本社のあり方を是正する為、営業担当者を長期間日本に滞在してもらい、日本市場に対する理解を深めてもらうことになったとのこと。東京事務所開設以来、日本とその市場を理解させることを使命としていた矢沢さんの努力が一つ報われたことになる。現に同社のカタログの在外代表欄にも、早期に開設したフランス事務所を差しおいて、日本がトップになっていることなどからも、同社が日本市場を重視している姿勢が窺われる。

例年のフランクフルト書籍展には地元出版社として参加しているが、日本の業者の方々の同展視察の際は是非お立寄りを、又御便宜の計えることがあったら知らせて欲しいとのこと。又従来タイトルナンバーから ISBN (International Standard Book Number) を採用し、1971年始めに総合カタログを用意するので、多数御希望の方は御連絡下さいとのことであった。

戦後派の Axel Springer 社 (新聞・雑誌社) との同名から起因する混同は、同社にとって悩みの種らしく、「Springer ist nicht Springer」というポスターまで出来ている。どうか此の二社を混同されぬよう、との同社の希望をお伝えすることにする。

「書 評」

金 平 聖 之 助 著

「世界の出版流通」—変貌する出版活動の展望

1970 サイマル出版会 580円

貿易の自由化も漸く出版界に及んで、我々洋書輸入協会のメンバーも多かれ少かれ、また、おそかれはやかれ何らかの影響を蒙らざるを得ないであろう。その影響が我々にとってプラスに作用するか、或は我々の存在をすらおびやかすようなものであるのか、未だそれは顕在化していないが、然し充分な用意と心構えが必要なのは論をまたない。

その様な中でこの本は我々に諸外国、特に我国に最も影響の大きい米・英出版界の実情を、主として業界誌や書評誌、それに研究書から得た著者の豊富な資料にもとずいて教えてくれて参考になる。副題からも分るように著者は世界の出版界の変貌を“構造的転換”としその主役をこれま

では“ペーパーバックス”がになっていたと概観した上で、“ブッククラブ”などの流通問題に筆を進めている。

我々洋書の輸入販売にたずさわる者として米英独仏などのブッククラブを中心とした出版流通の問題など、日本の流通問題を考える場合の良い資料になるし、又フランクフルト書籍展の概要など実際の役につと思うが、悠張って云えば、今後の変化と動向を或る程度見通せるような批判的展望がほしかった。その意味も含めて我々はこの本以後の問題を小売店としてのアプローチで考えてみる必要があるであろう。（紀伊國屋書店 窪田記）

出版社在日代表の紹介

ウエザヒル出版社

代表者 山 崎 武

東京都港区六本木 7-6-13

Tel. 404-8861

ウエザヒル出版社は、BOOKS ON JAPAN & ASIA の出版、Academic Press, Inc. (New York & London), Johnson Reprint Corp. (New York), Walter J. Johnson, Inc. (New York & London), Yale University Press (New Haven), 及び今秋より新しい D. C. Heath & Co. (Lexington) を加え、5社の代表業務を行っている。

BOOKS ON JAPAN は、日本国内はもとより、アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアにもその販売網を拡げ、年間20~30点の新刊を刊行、日本特有のテーマを、美しく豪華に仕上げて好評を得ており、アメリカでシカゴ・トリビューン紙の表彰を受ける等、高い評価をされているのは同社の誇りとするところある。

秀れた自然科学書の出版で知られる Academic Press, Inc. は New York と London で合わせて年間約600点にも及ぶ新刊を発刊する他、新しい雑誌やシリーズ物も続々と刊行している。なお同社では、六本木の事務所に新刊のサンプルを展示、至急の場合にはご利用頂けるようになっているので、お申し付けをとのことである。

Johnson Reprint Corp. は、今後社会科学の分野に重点を置いて、バックナンバーと単行本のコレクションをリプリントする意向である。

古書の Walter J. Johnson, Inc. は、今迄不行届きの点が多く、各位のご満足が得られない点があったかもしれないが、現在サービスの改善に全力をあげており、これからは少しずつでも改めるよう鋭意努力中とのことである。

Yale University Press は、周知の通り文学研究、語学、経済、美術、歴史等の分野で特に秀れた出版をしており、新しいペーパーバックYale Fastbacks も大変意欲的なシリーズとして期待されている。

D. C. Heath & Co. は、小学校から大学迄の教科書を出版しており、今後日本でも成長が予想される市場だけに期待出来るものと思われる。

値段の引合い、discount、支払条件、クレイムその他何でもお問合せ、ご要望がありましたら、皆川純一郎、村松宏一が承っておりますので、お申し付け下さるようとのことです。

海外 ニュース

「サイモン・アンド・シュスター社 合併か」

Simon & Schuster, Inc. の社長 Leon Shimkin 氏と Kinney National Service, Inc. の社長 Steven J. Ross 氏は、10月半ば、Kinney 社が Simon & Schuster 社を吸収合併すべく交渉中であることを発表した。両社の交渉はまだ了解点には達していないが、Kinney 社側ではかなり楽観的な見通しを持っている模様である。

Simon & Schuster 社には、今年の初めにも Norton Simon 社との合併話があり、この時は2,350万ドルで買収という条件が提示されたが、Simon & Schuster 社はこれを却っている。

今度の相手である Kinney 社は、映画会社のワーナー・ブラザースをはじめ音楽出版社やレコード会社、レンタル会社などを傘下に収めている大コングロマリットであり、すでに一部ペーパーバックの出版に手を伸ばしている。(Publishers' Weekly, 11月2日号より)

「マックスウェル氏新会社を設立」

アメリカの LEASCO 社との合併問題がこじれて Pergamon 社を追われた、Pergamon 社の前社長 Robert Maxwell 氏は、このほど、資本金 100,000 ポンドで Sciences, Engineering, Medical and Business Data という名称の新会社を設立した。

この新会社は、従来 Pergamon 社が出版していた雑誌 "International Abstracts of Biological Science" の発行を、1971年1月1日より肩代りするほか、きわめて特殊な専門書の出版を行うことになっている。

(Bookseller, 1970年10月31日号より)

——紀伊國屋書店提供——

Addison-Wesley Publishing Company は W. A. Benjamin, Inc. の取得に原則的に同意したと10月28日発表した。

A.-W. 社はさきに児童図書で有名な W. R. Scott, Inc. を買収している。

なお Benjamin, Scott 両社とも独自のブランドで今後とも出版活動が続ける予定。

——アジソンウェスレー出版社 玉川 桂提供——

ニュース

- 東独 Deutscher Buch-Export und-Import GMBH より Mr. Heinz Köhler, Mr. Siegfried Seumel, Mrs. Johanna Schlüter 10月中旬来日。
- 米 J. B. Lippincott Co., より Mr. Joseph W. Lippincott, Jr. 10月中旬来日。
- アイルランド Irish U. P. International より Mr. George Prior 10月中旬来日。
- 米 Simon & Schuster, Inc. の Foreign Sales Division の Manager, Mr. David U. Blum 10月下旬来日。
- 米 Rand McNally & Co., の Executive Director, Mr. Dennis O'Shea 10月下旬来日。
- 米 Collier-Macmillan International の Asst. Director, Mr. Alfred Arees 11月上旬来日。
- 西独 Springer-Verlag より Mr. Klaus Dymorz 11月上旬来日。
- 西独 Buch Hansa より Mr. Marcel Jone 10月下旬来日。
- 米 Scott, Foresman 社長 D. E. Peterson 10月下旬来日。
- 米 East-WestのMr. Norman Wright 11月上旬来日。
- 1971年1月1日より Associated Book Publishers の Group の中に "Methuen Children's Books Ltd." が加わりました。
- 株式会社国際書房においては、創立50周年記念パーティを10月9日(金)に、ホテル・ニューオータニ梅の間において盛大に挙行されました。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎ 262-5278

Gale Research Company

All Publications

ひろく一般からの投書を募ります！

テーマ：洋書輸入協会にのぞむ

- 字数：400字内外
- 投稿メ切：毎月末
- 誌上とく名を認めます
- 取捨及び多少の加筆訂正については会報委にお委せ下さい
- 掲載分には薄謝を進呈
- 送附先：協会事務局宛

VAN NOSTRAND REINHOLD

新刊ご案内

公害問題の決定版！

Give a concerned generation
the tools with which they can work toward
cogent, practical programs in conservation

CONSERVATION IN THE UNITED STATES

(5 volumes)

INTRODUCTION by STEWART UDALL

Water and Air Pollution

Leonard B. Dworsky, Editor

Director of the Water Resources and Marine Sciences
Center, Cornell University. Member, the President's
Science Advisory Committee Panel on the Environment

Land & Water, 1492-1900

Land & Water, 1900-1970

Frank E. Smith, Editor

Member, Board of Directors Tennessee Valley Authority
Author, *Politics of Conservation*

Minerals

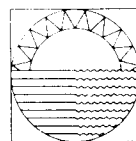
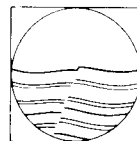
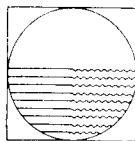
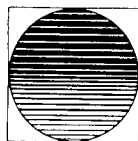
William T. Doherty, Jr., Editor

Chairman of the Dept. of History, West Virginia University
Author, *Louis Houck: Missouri Historian and Entrepreneur*

Recreation

Phillip O. Foss, Editor

Chairman of the Department of Political Science, Colorado
State University



Each volume, $6\frac{5}{8} \times 9\frac{1}{4}$, approx. 850 pages,
individually indexed; 5 vols., \$150.00
Publication date: September, 1970

リットン エデュケーションル パブリッシング インターナショナル

東京支社： 東京都千代田区神田小川町3丁目10-2
駿台ビル3階 TEL (291) 0422
本社： 450 West 33rd Street New York
N. Y. 10001

昭和45年11月 通巻第43号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329